



福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



<http://www.f-rotary.com/>

本日のプログラム

「職業奉仕月間について」スピーチ 職業奉仕委員会 後藤忠久 委員長
 新会員スピーチ (株)サンライト 代表取締役 吉田大樹 会員

会長あいさつ

第 20 回会長挨拶 古俣 猛 会長



先週のクラブ協議会大変お疲れ様でした。協議会の内容を基に今後も活発なロータリー活動をお願いいたします。

今月は職業奉仕月間でありまして、のちほど後藤職業奉仕委員長よりお話をいただきますが、ロータリーにおいて、看板である職業奉仕「どうもよくわからん」という声をよく耳にします。確かに職業といえば 会社の利益を目的とした商行為であり、奉仕といえば、世の為、人の為に利益を求めない行為であります。この正反対の二つの言葉を合体させて「職業奉仕」とロータリーでは言うのですから、解りにくいのかもかもしれません。職業奉仕の理念として基本となるものは 四つのテストであります。さらに一番わかりやすいのは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」このシェルドン氏の言葉ではないでしょうか。私のような凡人にとっては、これを確実に実行するのは、大変難しいことではあります。

さて話は変わりますが、本日ボックスに下期の会費納入のご案内を入れさせていただきましたが、皆様お気づきのことと存じますが、音楽祭事業費が今回 1 万円のお願いになってございます。当初は上期 5 千円、下期 5 千円 計 1 万円でありましたが、今回これで上期下期合計で 1 万 5 千円のご負担をお願いすることとなりました。1 月の理事会において、承認はいただきましたが、改めて私から皆様にお願いと、お詫びを申し上げます。

今現在、正確な予算書をご提示できない中でのお願いでありますので、甚だ心苦しいのですが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。一番の私の見通しが違ったのが WCS (世界社会奉仕事業) の補助金申請 100 万円が 残念ながら一切認められなかったところでありまして。どうか当日は、1,000 名にのぼる小学生を招待してのコンサートもごさいますし、被災者慰問コンサートもごさいます。何卒職業奉仕理念のもと、ご理解をいただきますようお願い致します。

例会次第

- 開会点鐘 古俣 猛 会長
- ロータリーソング
- 「福島ロータリークラブの歌」
ソングリーダー 丹治正博 会員
- 「四つのテスト」唱和 五阿弥宏安 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 会長あいさつ 古俣 猛 会長
- 食事
- 幹事報告 菅野裕一 幹事
- 各委員会報告
 - 広報マルチメディア雑誌小委員会
「友」1月号紹介 勢島 昇 委員
 - プログラム・ニコニコBOX小委員会
プログラム担当 氏川守義 小委員長
ニコニコBOX担当 勝見浩二 委員
- ◎本日のプログラム
- 閉会点鐘 古俣 猛 会長



例会プログラムのご案内

- 1月26日(木)** 辰巳屋
 職業奉仕月間にちなんで
 職業奉仕委員長スピーチ 後藤忠久 会員
 新会員スピーチ
 (株)サンライト代表取締役 吉田大樹 会員
 * 「友」1月号紹介 勢島 昇 会員
- 2月2日(木)** 辰巳屋
 新会員スピーチ
 (株)ダイヤモンド・スター・コーポレーション 佐藤美奈子 会員
 * 2月誕生祝い
 * 「友」2月号紹介 今井理基夫 会員
- 2月9日(木)** 祝日の週のため休会
- 2月12日(日)** ザ・セレクトン福島
 県北第一分区分ターシティ・ミーティング 受付 13:00 ~
 テーマ「クラブから地区へ提案しよう」
 第一部 13:30 ~ 第二部 15:00 ~ 懇親会 17:30 ~
- 2月23日(木)** 12:30 ~ 辰巳屋
 新会員スピーチ
 農林中央金庫福島支店 支店長 船本 勝 会員
- 3月2日(木)** 18:30 ~ 辰巳屋
 2月理事会



「職業奉仕月間について」 スピーチ

職業奉仕委員会

後藤忠久 委員長

今月は、「職業奉仕月間」ですので、本日は、「職業奉仕」についてスピーチをさせていただきます。

皆様ご存知のように、現在、ロータリーには、五つの奉仕部門が規定されております。第一に「クラブ奉仕」、第二に「職業奉仕」、第三に「社会奉仕」、第四に「国際奉仕」、第五に「新世代奉仕」です。特に「職業奉仕」という言葉は、ロータリー独自のもので、他の如何なる奉仕団体にもない概念であると言われております。

さて、ロータリーには、「ロータリーの目的」という項目に四つの規定がされております。その第二項に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は、すべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」と規定されております。「ロータリーの目的」とは、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明で、「目的」の第二項が「職業奉仕」になっております。

では、職業奉仕の実践例として、代表的な五つの方法がありますので、ご紹介いたします。

一つは、例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う事。一つは、地域別社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす事。一つは、高潔な精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す事。一つは、若者のキャリア目標を支援する事。一つは、専門能力の開発を奨励し、指導する事。の五つが挙げられております。

「職業奉仕」は、ロータリーの真髄であり、ロータリーを他の奉仕団体とは、意を異にする要素でもあります。

「職業奉仕」の理念は、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉で表されております。この言葉は、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したもので、ロータリー独自の奉仕理念であります。ロータリーでは、シェルドンの奉仕理念を正しく知ることが、正しく職業奉仕を理解することにつながると言われております。

1921年、スコットランドのエジンバラで開催されたロータリー国際大会で、シェルドンは、「ロータリアン

の職業は、利益を得るための手段ではなく、その職業を通じて社会に奉仕するために存在するものであり、儲けを優先しようとして事業を営むことが、事業の失敗する最大の原因である」と述べています。シェルドンは、自らが利益をあげることに狂奔せずに、自分の職業を通じて地域社会の人に奉仕するという態度で企業運営をすれば、その見返りとして最高の利益が得られると説いています。つまり、職業奉仕とは、科学的かつ合理的な企業経営方法のことであり、シェルドンの職業奉仕理論に則った企業経営をすれば、継続的に最高の利益が得られることを証明する実践理論でもありました。

ロータリーの他の奉仕活動の受益者は、ロータリアン以外の人たちですが、職業奉仕の受益者は、ロータリアン自身であると説いております。シェルドンの提唱した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」とは、職業奉仕の実践は、顧客の満足度を最優先した事業経営の方法ですから、当然のこととして高い職業倫理という結果が現れます。しかしそれは職業奉仕を実践した結果に過ぎず、職業倫理高揚を目的とした活動ではないと言われております。

そして、1927年ベルギーのオステンドで開催されたロータリー国際大会において「四大奉仕」が決定されました。

「四大奉仕」とは、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の四つの奉仕と決められました。そして、それまでロータリークラブの基本理念として一般奉仕概念と呼ばれていたものに「職業奉仕」という呼び名が正式に与えられました。そのときに「職業奉仕」の概念として言われたことは、「ロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕し、高い道徳的水準を保つことを奨励します」とされました。

「職業奉仕」という言葉に違和感を感じて「職業奉仕は分かりにくい」と考えるロータリアンが多くいらっしゃると思います。また、「自分の職業なのに、それが奉仕とは何のことか？」という感覚をお持ちの方も多くいらっしゃると思います。日本では、奉仕という言葉が、国家、社会のために無償で献身的につくすこと、あるいは、客のために商品を特に安価で売ること、というふうに理解される場合が往々にしてあると思います。しかしながら、ロータリーでの「職業奉仕」とは、先程述べさせて頂いたように「高い倫理観をもって職業活動を行うこと」を意味します。

福島ロータリークラブでは、今年度、4月より福島大学において出張講義を開催する予定ですが、これも

正に「職業奉仕」の一環と言える活動です。

最後になりますが、例会時に唱和される「四つのテスト」は、「職業奉仕」の基本理念にあたるようなものです。国際ロータリーは、「四つのテスト」を「事業および専門職務に携わるロータリアンが職業生活において遵奉すべきもの」と位置付けております。

ロータリークラブは、職業を絆とする人達の集まり

ですから、毎週の例会を通じて、会員相互の交流を深め、自己の道徳的能力、専門的能力を深める場となるよう心がけて頂き、職場に戻って「職業奉仕」を實踐して頂くこと、すなわち、「入りては学び、出でては奉仕せよ」の實踐をお願いして本日のスピーチとさせていただきます。

本日のプログラム②



新会員スピーチ

(株)サンライト 代表取締役

吉田大樹 会員

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、株式会社サンライト代表をしております、吉田大樹と申します。2016年6月末に伝統と格式ある、福島ロータリークラブに入会させていただきました。改めてありがとうございます。今日は、簡単な会社紹介と自己紹介をさせていただきます。

株式会社サンライトは、福島県二本松市渋川に1974年11月に創立し、43期目を迎えております。業種としては、プラスチックの製造業を行っており、正社員75名、派遣社員等を含めると約100名体制で部品を製造しております。

現在は自動車用部品が売上の9割を超えております。数年前までは、携帯電話、パソコン、テレビの部品等、様々なOA機器や家電部品のプラスチック部品を製造しておりましたが、時代の流れで生産場所が海外に移転し、その後、自動車部品が多く占めて参りました。日本国内販売の車だけではなく、世界戦略車が多くを占めており、国内の部品メーカーを経由して輸出が多くなってきています。現在はメキシコ向けが伸びており、次に中国向けの部品が多くなってきています。自動車部品につきましても生産場所が海外への移転が進んでいるのと、各自動車メーカーも海外での現地生産方針を打ち出しており、今後大変不安ではあります。また、アメリカの大統領が変わり、メキシコ、中国、日本に対して税を多くする等の報道がされていますので、益々不安であります。しかしながら、世の中の流れに対応をしていくしかありませんので、強みを磨き、会社を継続していきたいと思っております。

主な部品としては車の内装で、エアコン、オーディオのパネル、ボタン、また、ハンドル周り、パワーシート、パワーウィンドウのケース、ボタンなど、車

に乗って目で見えるプラスチック部品が多くを占めております。主な最終ユーザーとしましては、トヨタ、日産、ホンダ、スバル、BMW、VOLVO、FORD、GM、LAND ROVER、ROLLS ROYCE、その他にも世界各国の自動車メーカーに使用されております。

会社の特徴ではありますが、プラスチック成型、印刷、塗装、レーザー加工、接着、簡易組み立てと、金型から部品までを一貫して製造出来ることであります。一貫生産をすることにより、お客様の管理の手間を省くと同時に、社内の物流や、治工具を工夫することにより、コスト低減を行い、競争力をつけております。約20年前まではプラスチックの成形加工のみが主流でありましたが、現在はどちらかというと、プラスチックの二次加工ができる会社として、お客様から仕事を頂いている状況であります。

会社の歴史としまして、こんな部品が出来ないか？こんな部品をもっと安くできないか？と、お客様より要求や、相談があり、様々なことに挑戦していくうちに、プラスチック部品の二次加工が増えていきました。他社では行っていない工法等も挑戦してきましたので、立ち上げの労力は大きく、従業員もしんどい時も多々あると思いますが、初めにやってしまうと他社との差が出来、次に受注したときに優位性が出てきます。現在では、難しい仕事、めんどくさい仕事はサンライトに頼めば良い。となりつつあるのと、車の部品で新しい内装で評判が良いと、他社も同じような部品を作ります。当然、お客様はどこで作ったかを調べますので、同じような仕事をお客様が持ってくるケースもあります。今後も、難しくめんどくさい仕事はサンライトに頼めば良い。と、全国で言われるようにいろんな技術に挑戦していきたいと思っております。

もう一つの特徴として、社内製造の自動化を早い時期から進めており、生産性、品質の向上に努め、少ない人数、少ないスペースで大きく稼ぐことをモットーとし、会社を運営しております。また、オリジナルの機械も多数保有しています。今後も、知恵と工夫により、更なる自動化、新しい技術への挑戦をし、地域に貢献で

きる会社にしていきたいと思います。

続きまして自己紹介を行いたいと思います。まず、家族ですが、妻と娘一人です。娘は、昨年8月の納涼夜間例会、そして、12月の年忘れ家族会に参加をさせて頂き、大変楽しんでおりました。面倒を見て頂きましたメンバーの皆さまに感謝しております。ありがとうございました。

私は、昭和50年2月24日に生まれ、現在41歳でございます。幼稚園まで二本松市で過ごし、小学校入学と同時に福島市に来まして、月輪小学校、福島第三中学校、福島県立福島高校と福島市で育てられています。その後、宇都宮大学の工学部に進学し、卒業後の平成9年に父親が経営しておりました、サンライトに入社しました。平成18年に代表取締役となり現在に至っております。

振り返りますと、小学校は一学年一クラスの小さな学校だったので、男子はソフトボールクラブしかなく、シーズン中はソフトボールを楽しんでいました。また、今の小学生はあまり外で遊ぶことが少ないようですが、暇なときはまだまだ外に遊びに行き、缶蹴り、鬼ごっこ、魚釣り、川に入って泳いだりもしていました。今では考えられませんが、その当時でもぎりぎりそのような遊びを行った時代だったと思います。昨年、ミニファミコンが発売され少し話題になっていましたが、小学生の時にファミコンが発売され、当初はむきになってゲームをしていましたが、私は体を動かすのが好きだったので、飽きてしまい外で遊ぶことが多かったと思います。

中学校では軟式野球、高校では硬式野球と、学生時代は勉強よりも野球を毎日やっている日々でありました。中学校までは、なんとか授業についていけましたが、高校からは、ほとんど勉強もやっておりませんので、授業について行けず、授業中は眠くなる日々を過ごしていました。甲子園出場の夢は叶うことなく、最後の大会を終えた後に慌てて勉強し、何とか大学に進学することが出来ました。当時、部活のお手伝いに来ていた研修生で、後に福高野球部の監督をしていた先輩には大学に行けたのが奇跡だと言われたくらいです。

大学に入る前に、父親からは4年間だけ遊ばせてやる。好きなことをやってこい。と言われ進学したわけですが、入学式前のオリエンテーションで出会った仲間が、保健体育科のバリバリの体育会系、硬式野球部希望、別の女の子も硬式野球部マネージャー希望、流れの中で私も硬式野球部に入り4年間を過ごしました。強豪私立とは違い、自分たちで考える野球だったのである意味楽しくやらせていただきました。当時は

関東甲信越リーグで1部リーグ、2部リーグを行ったり来たりする力で、最後の年は1部リーグに昇格し後輩にバトンを渡すことが出来、大変喜んだのを覚えています。ただし、強いチームとの力の差ははっきりしており、プロに行くレベル、また、プロで活躍できるレベルにはもの凄い差があると実感させていただきました。

話は変わりますが、大学で一番楽しい授業、唯一覚えている授業と言っても過言ではありませんが、富士重工の部長の方が講師に来ていただき、なぜ飛行機は空を飛ぶのか？そんな感じの題目で授業をして頂きました。普通の大学教授の授業よりも遥かに面白く全く眠くなることなく、今でも原理はなんとなく覚えています。福島ロータリークラブでは福島大学との連携講座で、メンバーの方が講師をされると聞いております。私の大学での思い出もあることより、学生にとってはとても良いことだと思います。時間があれば私も講義を聞きに行きたいと思います。

その他に大学で学んだのは、アルバイトを沢山し社会勉強をしたことだと思います。和風居酒屋の店員、家電量販店本店での販売員、お葬式の手伝い、アンケート調査、交通量調査、塾の先生、家庭教師、JAの米運び、結婚式場のお手伝い、その他もろもろアルバイトをさせて頂き、いろんな経験と、いろんな人がいるなど、勉強になりました。この経験は今の自分の糧になっていると思います。

大学卒業後、会社に就職したわけですが、入社2年目に縁がありまして、福島青年会議所、通称、福島JCに入会させていただきました。JCは40歳までの団体であります。入った当初は24歳、平社員だったので、先輩の名刺の肩書に代表取締役とか、取締役と見るたびに偉い人がずいぶんいるなど、驚いたことを覚えています。福島ロータリークラブにもOBの方が沢山いますが、古俣会長も当時現役でございました。今と変わらず怖い顔をしていまして、怖い人が沢山いる団体だとも思っておりました。(古俣会長申し訳ありません)しかし、直接でなくても厳しくも優しくいろんなことを教えて頂き大変感謝しています。福島JCでは良いことも、悪いことも、沢山のことを学ばせていただきました。また、若くて様々な人と交流することで、自分と似たような考えの人、自分では思いもつかないような考えをする人等、沢山の人と交流したことも勉強になりました。一生涯の仲間も出来ました。また、約10年前に、当時社長でありました、父親が急遽亡くなった際も、仲間や、先輩、後輩に支えられ、現在まで代表として経営をしております。周りで若くても活躍している人が沢山いて、ある意味同年代のライバルに

負けなぞ。という気持ちも大きかったと思います。2013年には、先輩に背中を押され理事長も経験させて頂き大変貴重な経験もさせて頂きました。まだまだ未熟な私ではありますが、今の自分があるのはJCに入会し、卒業した経験が無ければもっと未熟だったと思います。本当に福島JCに入れて良かったと思います。また、福島ロータリークラブに入会させて頂いたのも、福島JCの縁と、学びがあったからだと思います。先輩方には大変感謝しております。

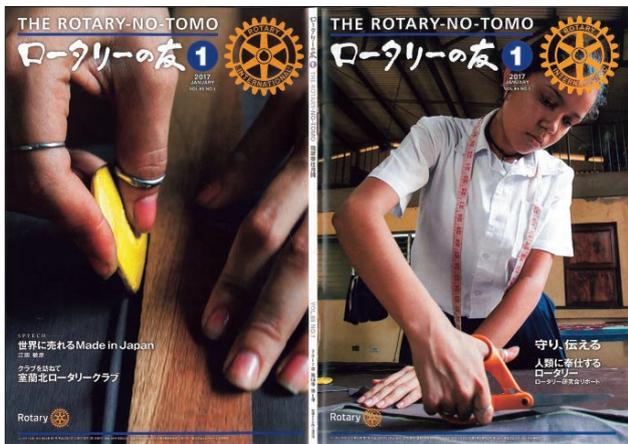
私は、学校や会社で学ぶよりも、別の場所に身を置き学ぶことが合っているように思えます。福島ロータリークラブでも沢山学び、自己成長に努め、会社をしっかりと経営し、プラスαで世の中に貢献できる人間になりたいと思います。福島ロータリークラブの先輩方に、これからもご指導とご鞭撻をお願いし、私のスピーチとさせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。

委員会報告

「ロータリーの友」1月号のご紹介

勢島 昇 委員



【注目記事】

●縦組みP23

「乳幼児の健康に活用を」

実物大の立体食品模型(フードモデル)を福島市に寄贈。保護者の育児負担の軽減、離乳食指導ならびに地域の育児相談などの拡充に役立てることを目的に、乳幼児の離乳食を再現したもの2セットと、1日に必要な分量に切り分けた野菜セット1セットを小林香市長に手渡した。(本文を抜粋)

〈福島南RC〉



【注目記事】

●横組みP12-13

「子供歌舞伎の復活を一会津田島祇園祭子供歌舞伎」

保存会の歴代会長を田島ロータリークラブの会員が務めてきた関係もあり、折りに触れて、クラブによる諸活動のアトラクションなどに出演依頼をしながら、活動の助成を継続してきました。

また、歌舞伎の衣裳や舞台道具は高価なものが多く、保存会の希望に沿っての助成は難しいものがありますが、当クラブとしては、保存会を末永く見守り、助成していきたいと考えております。(本文を抜粋)

〈田島RC 社会奉仕委員長 猪股 純一〉



【注目記事】

●縦組みP29

「信夫山ガイドセンターに壁掛け時計を寄贈」

当クラブは8月31日、福島市の信夫山ガイドセンターに壁掛け時計を寄贈しました。社会奉仕事業の一環として実施したもので、時計にはアニメ映画のキャラクターがかたどられ、時報として映画の曲が流れます。

同センターは緑豊かな自然の宝庫で、多くの史跡や物語を残す信夫山の魅力発信と、観光活用の拠点として4月に(一財)ふくしま未来研究会が開設。(中略)

同センターで開かれた贈呈式には、会員ら約30人が参加し、宍戸宏行会長が同研究会の佐藤勝三代表理事に目録を

手渡しました。(本文を抜粋)

〈福島中央RC〉



私のひとこと

江花 亮 会員



土木考

私は土木の技術者です。学生時代を含めると土木一筋60年も、もう間近です。

先日学会で親しくしている大学の教授との懇談で、この数年来、土木離れが富みに大きく、生徒の受験数がままならないと嘆いておりました。理由を聞いたらいろいろあるようだが、今の若者には土木という言葉のトーンが時代にマッチしないという。つまり「ダサイ」ということらしい。そんなことからか多くの大学で土木改名論が起きているらしい。我々の時代は土木の真の意味を事前に勉強してこの道に入ったのだが、今はそうでもないらしいので大変残念である。

土木の学問である土木工学をシビルエンジニアリング (Civil Engineering) と読むことはご案内の通りであります。直訳すれば市民工学とも読めるように、市民の日常生活に欠かせない道路、鉄道、治水、都市施設や災害の復旧等を造り上げる役目であり、遠く歴史を振り返っても、土木のことは古くは、中国の古典 淮南子 (えなんじ) 紀元前150年前の書物の中に見ることができる。

「いにしえは民 澤處し復穴し 冬は霜雪、夏は暑熱に勝てず 聖人はこれがため 土を築き木を構えて 以て室屋と生し 棟を上にし 宇を下にして 以て風雨を蔽い 以て寒暑を避けしめ 而して百姓これを安んず」という文言があり、この文中の築土構木が土木の原点といわれております。また、我が国の文献にも第64代円融天皇の頃に「土木壯麗冠絶古今」という古典の一文や、西洋に至っても文明(シビライゼーション Civilization)の語源であるラテン語のシビタス (Civitas) は都市を意味するものであり、古今東西、土木という文字は都市や文化、文明に大きくかかわりを持つものであると言えるのは、私の独りよがりでもないと思うわけです。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



●ゲスト
芳賀 裕 様
(福島中央 RC)

幹事報告

例会変更のお知らせ

- 福島北RC 31日(火)の例会は休会となっております。
- その他のお知らせ
- 下期会費納入のご案内を致しました。早めの納入を宜しくお願い致します。
- 本日、1月理事会議事録を配布しておりますのでご確認下さい。

ニコニコBOX報告 (報告)勝見浩二 委員

本日のニコニコBOX投入額 34件 **¥78,000** 累計 **¥1,498,000**

古保 猛 会長

もうすぐ立春ですが、まだまだ寒さがきびしいようです。皆様くれぐれもご自愛ください。野原会員娘さん誕生おめでとうございます。しばらく育児大変ですね！

野原邦亮 会員

昨日、福島県立医大において、女の子を無事に出産することができました。こうして福島で出産出来たことに心より感謝申し上げます。出産後、妻が「福島で出産することができて本当に幸せだった」と涙を流して喜んでおりました。私達にとって故郷となる福島に恩返しが出来よう頑張ってます。本当にありがとうございます。

相良元章 会員

2月1日から私達のグループ会社「ふくしま新電力」がスタート致します。小さな小さな地域電力会社です。宜しくお願い申し上げます。

勢島 昇 会員

何年か振りに「友」の紹介をいたします。

丹治正博 会員

間もなく2月3日の節分がまいります。稲荷神社では恒例の豆まきが夕方5時頃より盛大に行われます。皆さんも厄をは

らって福を授かる豆まきに是非おこし下さい。

後藤忠久 会員

皆様のご協力のお陰で「日台友好親善コンサート」の概要が決まりました。皆様に喜んで頂けるコンサートにしたいと思います。皆様よろしくお祈り致します。

本保 晃 会員

私どもの職員の問題では、視聴者の皆様にお詫びしなければなりません。申し訳ありませんでした。万全を期して参ります。

茂田士郎 会員

あと2年すると平成の元号が終わると言われています。そうなる、もしその時を迎えることが出来れば、我々は昭和、平成、新しい元号と3代を生きることになります。明治、大正は遠い時代と思っておりましたが、昭和も遠くなりつつあります。

他クラブ会員より／安藤健次郎／氏川守義／岡田新也／勝見浩二／後藤洋伸／佐藤英典／田沼紀美子／黒崎浩一／辺見哲郎／菅沼 裕／加納武志／内池 浩／信国一郎／五阿弥宏安／坪井大雄／船本 勝／靄丸直久／吉田大樹／佐藤美奈子／八子英器／林 隆壽／浦部 博／森 洋一／三宅 喬／反後太郎／三木エリカ